



建築家 隈 研吾氏が、洋光台中央団地のデザインアドバイザーに就任 ～洋光台地区の「顔」となる広場改修に挑みます～

日本を代表する建築家の一人である隈 研吾氏が、洋光台中央団地^{*1}（UR賃貸住宅）の広場改修や外壁修繕工事等に係る「デザインアドバイザー^{*2}」に就任しました。

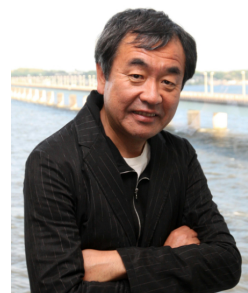
UR都市機構は、次世代に継承するまちづくりとして、UR賃貸住宅を活用したエリアの再生と活性化を目指すモデルプロジェクト「ルネッサンス in 洋光台」を進めてまいりました。約2年間の議論を経て、いよいよ洋光台地区の再生・活性化が始まります。

第一弾として、建築家 隈 研吾氏を「デザインアドバイザー」に迎え、洋光台地区の「顔」となるJR洋光台駅前の洋光台中央団地内広場（通称：サンモール洋光台駅前広場）の改修基本検討に着手しました。

これまで、UR都市機構はワークショップ等を通じて、地元の方々から「コミュニティの場づくり」「駅前の賑わいづくり」「洋光台ならではの景観・雰囲気づくり」など地元が求める広場の将来像を多くいただいております。

これらを踏まえ、隈 研吾氏が導き出したデザインコンセプトが“街の縁側”。

洋光台の広場を西洋的な意味での PLAZA にはしたくありません。PLAZA にはどこか、かくれて閉じたイメージがあります。重たい建築に囲まれた、閉じた外部空間というニュアンスがあります。洋光台の広場で僕らが目指したものは「街の縁側」のような空間です。街と外部とをつなぐ場所であり、誰もが気楽に腰かけていける場所-それでも洋光台の人にとっては懐かしくて、ここに帰ってくると「家に帰ってきたな!!」とちょっと、ほろっとくる空間-そういうような新しくて懐かしい外部空間をデザインしようと考えました。



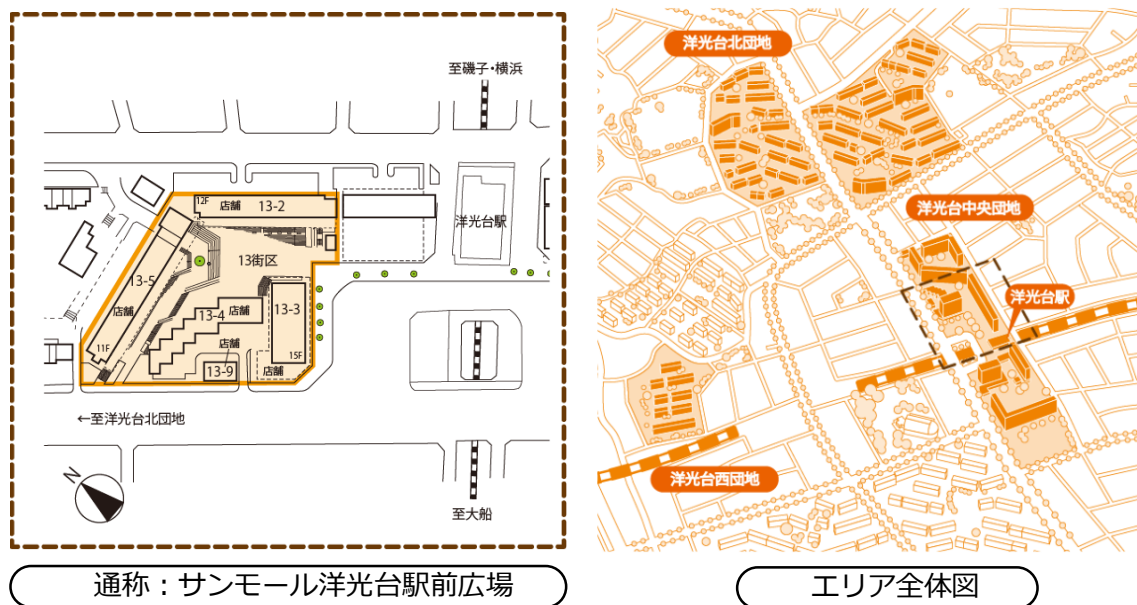
このデザインコンセプトは広場改修のみならず、洋光台地区の再生・活性化に資する様々な取組に繋がっていきます。

UR都市機構では、引き続き洋光台地区の再生・活性化の議論を進めながら、具体的な取組を順次展開していく予定です。

^{*1} 洋光台中央団地（横浜市磯子区・管理戸数 1,276 戸・昭和 46 年管理開始）

^{*2} 隈 研吾氏デザイン監修のもと、株式会社みのべ建築設計事務所（社長：蓑部 和人）が基本設計を行います。

1 位置図



名称 洋光台中央団地内（通称：サンモール洋光台駅前広場）

所在 神奈川県横浜市磯子区洋光台3丁目13番

2 ルネッサンス in 洋光台の概要

別添1のとおり。

3 洋光台地区の概要

別添2のとおり。

お問い合わせは下記へお願いします。

神奈川地域支社 団地活性化推進本部

（電話）045-682-1563

神奈川地域支社 総務部総務チーム

（電話）045-682-1511

ルネッサンス in 洋光台の概要

「ルネッサンス in 洋光台」は、ストック改修にかかるソフト・ハード、ウェルフェア、環境技術等のUR都市機構が培ってきたノウハウを総動員し、洋光台地区内のUR賃貸住宅*を核として、洋光台地区全体の活性化を図るプロジェクトです。

「ルネッサンス in 洋光台」では、これまでにないダイナミックな視点を取り入れるため、各界の著名な有識者からなる「アドバイザー会議」を平成 23 年 12 月に設置し貴重なアドバイスを頂いております。今回広場改修のデザインアドバイザーを務める隈 研吾氏は、このアドバイザー会議の座長でもあります。

また、平成 24 年 5 月には、学識経験者、洋光台まちづくり協議会、神奈川県、横浜市、磯子区といった地元関係者とUR都市機構により構成される「洋光台エリア会議」を設置し、エリアマネジメントの体制構築に向けた議論も併せて進めています。

UR 都市機構は、今後、このプロジェクトで得られた知見やノウハウを他団地でも積極的に活用し、新しいまちづくりの取組を全国的に展開していきます。

※「ルネッサンス in 洋光台」の詳細は、下記ホームページをご参照ください。

ホームページ:<http://www.ur-net.go.jp/kanagawa/renaissance/>

* 洋光台地区内のUR賃貸住宅とは、洋光台北団地、洋光台中央団地及び洋光台西団地の3つのUR賃貸住宅団地です。

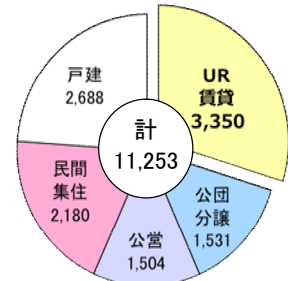
別添 2

洋光台地区の概要

神奈川県横浜市磯子区南部に位置する、ＪＲ根岸線洋光台駅前を中心とする 207.5ha の郊外住宅地。横浜駅から約 20 分。

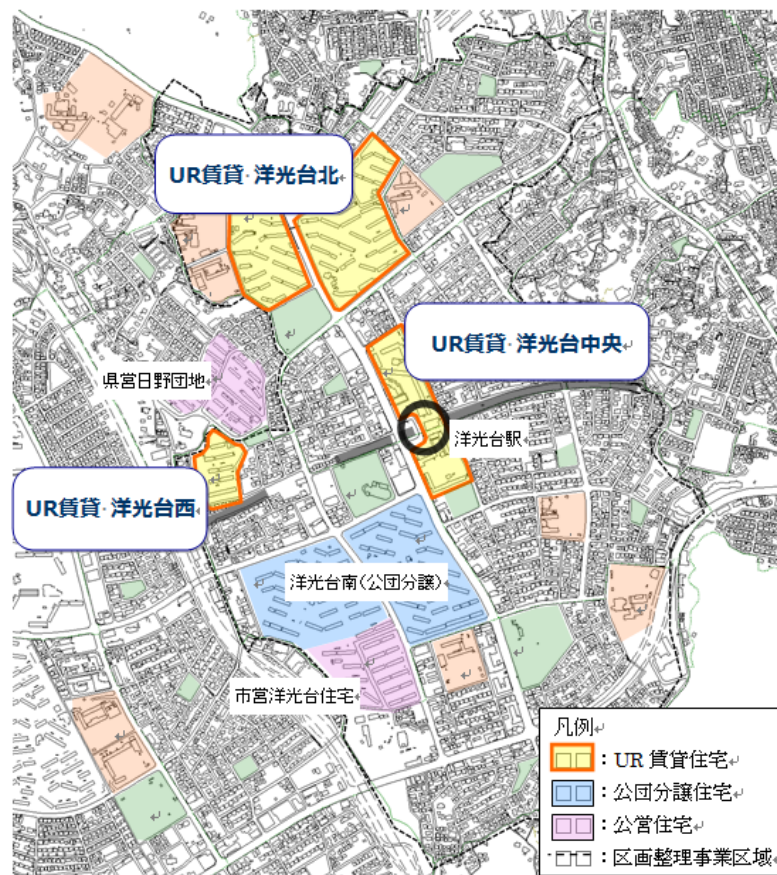
昭和 40 年代に根岸線の延伸と併せて、日本住宅公団施行の土地区画整理事業により開発された区域を中心としたエリア。ＵＲ賃貸住宅が住宅戸数の約 1／3 を占めており、公営住宅を含め、約半数が公的賃貸住宅。

高齢化が進む中、洋光台まちづくり協議会をはじめ、地元住民を中心としたまちづくり活動が活発に行われており、洋光台エリア会議では、各種ワークショップや地元による自発的な活動「cyoi アクション」の成果を通じて、有識者、洋光台まちづくり協議会、行政、ＵＲが連携してエリア全体に係る議論を行っている。



供給主体別戸数構成（戸）
※H17 時点推計

■周辺図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 2500（空間データ基盤）及び基盤地図情報を使用しました。（承認番号平 23 情使、第 68 号）なお、本成果品を第三者がさらに複製又は使用する場合には、国土地理院長の承認を得る必要があります。